

野村アフリカ株投資

運用報告書(全体版)

第14期 (決算日2021年11月17日)

作成対象期間 (2020年11月18日～2021年11月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2008年3月6日から2025年11月17日までです。	
運用方針	野村アフリカ株投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてアフリカ諸国の企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行ないます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。	
主な投資対象	野村アフリカ株投資	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	アフリカ諸国の企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村アフリカ株投資	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数	株組入比率	株先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率				
	円	円	%		%	%	百万円
10期(2017年11月17日)	11,599	100	27.0	148.91	29.6	94.6	5,393
11期(2018年11月19日)	10,500	50	△ 9.0	129.93	△12.7	98.2	3,924
12期(2019年11月18日)	10,165	20	△ 3.0	130.53	0.5	97.5	3,576
13期(2020年11月17日)	8,970	0	△11.8	120.36	△ 7.8	96.2	2,486
14期(2021年11月17日)	11,261	60	26.2	147.61	22.6	99.0	2,547

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI EM アフリカ インデックス(税引後配当込み・円ベース))は、MSCI EM アフリカ インデックス(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算し、設定時を100として指数化しております。

*MSCI EM アフリカ インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	株組入比率	株先物比率
	騰落率	騰落率			
(期首) 2020年11月17日	円	%		%	%
	8,970	-	120.36	96.2	-
11月末	8,898	△ 0.8	119.37	92.9	-
12月末	9,279	3.4	124.23	97.0	-
2021年1月末	9,596	7.0	131.07	97.7	-
2月末	10,223	14.0	141.17	98.3	-
3月末	11,063	23.3	150.45	97.7	-
4月末	11,226	25.2	151.75	98.2	-
5月末	11,708	30.5	156.96	98.4	-
6月末	11,015	22.8	147.73	98.6	-
7月末	10,950	22.1	145.25	98.7	-
8月末	10,808	20.5	141.85	98.5	-
9月末	10,672	19.0	139.60	94.8	-
10月末	11,046	23.1	145.51	98.4	-
(期末) 2021年11月17日	11,321	26.2	147.61	99.0	-

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：8,970円

期 末：11,261円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰落率： 26.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年11月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI EM アフリカ インデックス(税引後配当込み・円ベース)です。参考指数は、作成期首(2020年11月17日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上 昇) 欧米での新型コロナウイルスのワクチン接種の開始が好感されたこと、世界経済の正常化への期待が高まったことを背景に原油やプラチナなどの商品価格が上昇したこと、南アフリカの一部の大手企業の決算が好感されたこと、商品価格の上昇やラマポーザ政権の構造改革への期待を背景に南アフリカ・ランドが対円で上昇(円安)したこと。
- (下 落) 南アフリカで新型コロナウイルスの新規感染者数が急拡大し、経済活動の制限措置の再導入が嫌気されたこと、パラジウムやプラチナなど商品価格の低調な推移を受けて貴金属株が下落したこと、中国政府によるインターネット業界への規制強化の動きを受けて、同国の大手インターネット・サービス会社に投資している南アフリカの一般消費財・サービス株が下落したこと、南アフリカ・ランドが対円で下落(円高)したこと。
- (上 昇) 新型コロナウイルスワクチンのライセンス取得に向けて、米大手製薬会社との交渉を進めていると報道された南アフリカの製薬株が大幅に上昇したこと、米債務上限問題が先送りされ、デフォルト(債務不履行)懸念が後退したことを好感し世界の株式市場が上昇したこと。

○投資環境

アフリカ諸国株式市場（米ドルベース）は、期首、欧米で新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことを受け、投資家心理が改善し、世界的に株高となったことなどを背景に上昇基調で始まりました。2021年1月には米大手製薬会社が開発中の新型コロナウイルスのワクチンの受託生産が可能だと伝えられた南アフリカの製薬株が上昇しました。同ワクチン接種の普及とともに世界経済の正常化への期待が高まったこと、原油やプラチナなど商品価格が上昇したことを受け、素材セクター中心に堅調に推移しました。3月にはコミュニケーション・サービス株や生活必需品株の決算が好感され、南アフリカ株式市場の上昇をけん引しました。

5月に入ると、為替市場では、南アフリカの国営電力会社の純負債が大幅に削減されたことが伝えられ、政府による同社の発電、送電、配電事業の分社化計画も投資家に評価されるなど、ラマポーザ政権の構造改革への期待が高まったことを背景に、南アフリカ・ランドは対米ドルや対円で大幅に上昇しました。

6月以降は、南アフリカで新型コロナウイルスの新規感染者数が急拡大し、経済活動の制限措置が再導入されたことが内需関連株への重石となりました。また、米金融政策の正常化が早まるとの見方が強まり、金やプラチナ、パラジウムなどの商品価格が下落したことが嫌気され、素材セクターも下落基調で推移しました。その後も、中国政府によるインターネット業界への規制強化の動きを受けて、同国の大手インターネット・サービス会社に投資している南アフリカの一般消費財・サービス株が下落しました。為替市場では、南アフリカ・ランドが対米ドルや対円で下落しました。また、ケニアでは、年初来株価が上昇してきた通信株やビールが主な商品である飲料株が軟調となりました。

9月中旬以降は、新型コロナウイルスワクチンのライセンス取得に向けて、米大手製薬会社との交渉を進めていると報道されていた南アフリカの製薬株が大幅に上昇したことなどを受け、上昇に転じました。10月には米債務上限問題が先送りされ、デフォルト懸念が後退したことを好感し、世界の株式市場が上昇したことに加え、金やプラチナなど商品価格の上昇を受けて、南アフリカの金鉱株や貴金属株が上昇しました。エジプトでは、景気回復に伴う業績回復への期待を背景に銀行株や資本財株が上昇しました。

11月以降も、世界的なインフレ上昇懸念を背景に、金やプラチナの価格上昇が南アフリカの金鉱株や貴金属株への追い風となりました。当期において、アフリカ諸国の株式市場は上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村アフリカ株投資]

主要投資対象である[野村アフリカ株投資マザーファンド] 受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの基本方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

[野村アフリカ株投資マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

・期中の主な動き

- (1) 国別配分については、期首においては、エジプトやケニアなどをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、南アフリカをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。期末においても、ケニアやエジプトなどをオーバーウェイトとし、南アフリカのアンダーウェイトを継続しました。
- (2) 業種配分については、期首においては、コミュニケーション・サービスや生活必需品などをオーバーウェイトとし、一般消費財・サービスなどをアンダーウェイトとしました。期末においては、一般消費財・サービスや資本財・サービスなどをオーバーウェイトとし、金融などをアンダーウェイトとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（MSCI EM アフリカ インデックス（税引後配当込み・円ベース））の騰落率が+22.6%となったのに対し、基準価額の騰落率は+26.2%となりました。

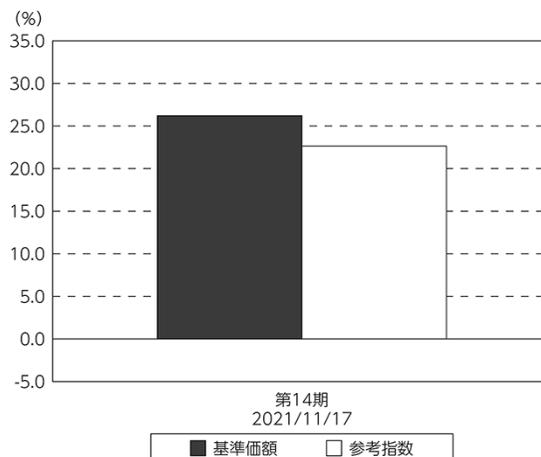
（主なプラス要因）

- ①国別配分において、株価騰落率が参考指数を上回ったモリシャスやケニアをオーバーウェイトとしたこと。
- ②個別銘柄において、株価騰落率が参考指数を下回った南アフリカの一般消費財・サービス株をアンダーウェイトとしたこと。

（主なマイナス要因）

- ①国別配分において、株価騰落率が参考指数を下回ったエジプトをオーバーウェイトとしたこと。
- ②個別銘柄において、株価騰落率が参考指数を下回ったエジプトの金融株や南アフリカの素材株をオーバーウェイトとしたこと。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、MSCI EM アフリカ インデックス（税引後配当込み・円ベース）です。

◎分配金

- （１）今期の収益分配金は、基準価額水準などを勘案し、1万口当たり60円とさせていただきます。
- （２）留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第14期
	2020年11月18日～ 2021年11月17日
当期分配金	60
（対基準価額比率）	0.530%
当期の収益	60
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,180

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村アフリカ株投資マザーファンド]

1. 投資環境

アフリカ諸国株式市場は、短期的には、各国の新型コロナウイルスの感染状況や、世界景気の動向とそれに連動している商品市況の動向などの要因に左右されやすい展開が続くと考えられます。世界的なインフレ率の上昇が商品価格の上昇に繋がり、資源株への追い風になるとみられます。一方、インフレ対策として主要国の中央銀行が景気回復の減速を招くほどの金融政策の引き締めを行えば、多くの商品価格が下落し、特に、南アフリカ株式市場への重石になると考えられます。中長期的には、構造改革などを通じて経済成長の底上げがなされるかどうかが重要であると考えており、早急な実行が望まれます。人口は増加が続き、構成も若いなど、潜在的な成長余地は高い地域であり、実際に高い経済成長が持続可能な形で実現されれば、投資家の関心は高まると考えられます。

2. 投資方針

- ①南アフリカについては、緩やかな景気回復が進む中、政府が新型コロナウイルスの対策や経済改革と財政の立て直しを同時に進められるかが注目されます。2021年11月に行なわれた地方選挙において、与党・アフリカ民族会議（ANC）の得票率が50%を割り込み、1994年の政権獲得以来最低の水準となりました。支持率低下の背景として、相次ぐ汚職や公共サービスの質の悪さが挙げられています。これらの問題は、ラマポーザ大統領就任前から深刻化し、就任後、積極的に取り組んできた課題です。しかし、選挙の結果を受けて同大統領の党内基盤が弱体化する可能性が高まったことから、構造改革のペースが失速するリスクには、今後、注意が必要です。銘柄選択にあたっては、高い競争力を有する優良企業を中心に選別する方針です。国外にも事業を展開し、アフリカ地域全体の中長期的な発展の恩恵を享受できる銘柄にも注目しています。
- ②エジプトについては、観光業の回復などを考慮すると、堅調な景気回復が続くと見込まれています。また、投資家に好感されたオンライン決済会社のIPO（新規株式公開）後に、政府が国営企業の新たなIPOの計画を発表しました。計画を速やかに実施できるかに注目していきます。
- ③ケニアについては、国内景気が早いペースで回復しており、国内企業の業績回復が期待されています。一方、インフレ率が依然として高い水準にあるため、引き続き、インフレ動向を注視していきます。

[野村アフリカ株投資]

主要投資対象である[野村アフリカ株投資マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については、引き続き為替ヘッジを行なわない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年11月18日～2021年11月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 232	% 2.200	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(110)	(1.045)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(110)	(1.045)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.051	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(5)	(0.051)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.054	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(6)	(0.054)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.060	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.057)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	249	2.365	
期中の平均基準価額は、10,540円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

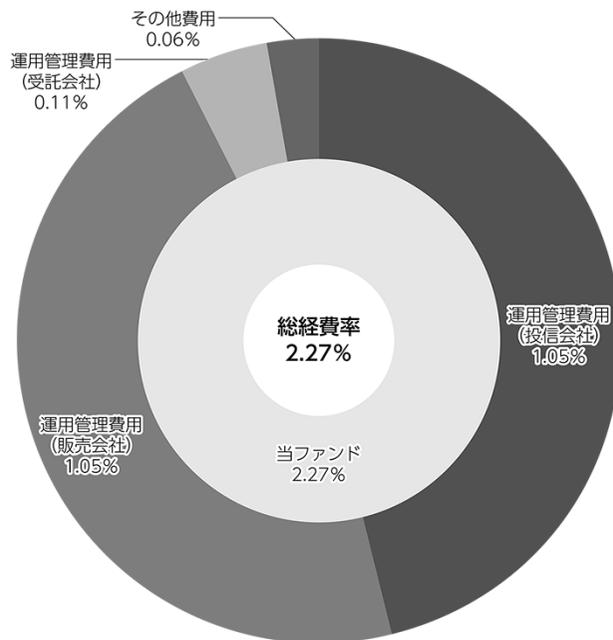
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.27%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月18日～2021年11月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村アフリカ株投資マザーファンド	千口 51,116	千円 100,770	千口 357,936	千円 702,208

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年11月18日～2021年11月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村アフリカ株投資マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,324,919千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,480,326千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月18日～2021年11月17日)

利害関係人との取引状況

＜野村アフリカ株投資＞

該当事項はございません。

＜野村アフリカ株投資マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	136	105	77.2	736	105	14.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2021年11月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村アフリカ株投資マザーファンド	千口 1,497,850	千口 1,191,030	千円 2,542,135

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年11月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村アフリカ株投資マザーファンド	千円 2,542,135	% 98.1
コール・ローン等、その他	49,989	1.9
投資信託財産総額	2,592,124	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村アフリカ株投資マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,536,000千円）の投資信託財産総額（2,551,950千円）に対する比率は99.4%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=114.87円、1ユーロ=130.03円、1エジプトポンド=7.3119円、1ケニアシリング=1.0255円、1ランド=7.41円、1モーリシャスルピー=2.6557円、1ナイラ=0.277574円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,592,124,050
コール・ローン等	49,988,765
野村アフリカ株投資マザーファンド(評価額)	2,542,135,285
(B) 負債	44,913,849
未払収益分配金	13,572,229
未払解約金	3,308,135
未払信託報酬	27,991,517
未払利息	42
その他未払費用	41,926
(C) 純資産総額(A-B)	2,547,210,201
元本	2,262,038,227
次期繰越損益金	285,171,974
(D) 受益権総口数	2,262,038,227口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,261円

(注) 期首元本額は2,772,384,669円、期中追加設定元本額は130,919,584円、期中一部解約元本額は641,266,026円、1口当たり純資産額は1,1261円です。

○損益の状況 (2020年11月18日～2021年11月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,941
支払利息	△ 3,941
(B) 有価証券売買損益	564,318,428
売買益	658,425,735
売買損	△ 94,107,307
(C) 信託報酬等	△ 56,404,046
(D) 当期損益金(A+B+C)	507,910,441
(E) 前期繰越損益金	△472,926,257
(F) 追加信託差損益金	263,760,019
(配当等相当額)	(596,814,228)
(売買損益相当額)	(△333,054,209)
(G) 計(D+E+F)	298,744,203
(H) 収益分配金	△ 13,572,229
次期繰越損益金(G+H)	285,171,974
追加信託差損益金	263,760,019
(配当等相当額)	(597,471,342)
(売買損益相当額)	(△333,711,323)
分配準備積立金	348,233,177
繰越損益金	△326,821,222

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年11月18日～2021年11月17日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年11月18日～ 2021年11月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	59,919,421円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	597,471,342円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	301,885,985円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	959,276,748円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,240円
g. 分配金	13,572,229円
h. 分配金(1万口当たり)	60円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	60円
------------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村アフリカ株投資マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日2021年11月17日）

作成対象期間（2020年11月18日～2021年11月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行ないます。 株式への投資にあたっては、定量評価に基づく個別銘柄の投資魅力度等の判断に加え、企業訪問を含む定性評価に基づくファンダメンタル分析により、収益性、成長性、財務安定性および株価の割安性などを総合的に勘案して選択した銘柄に投資します。なお、上場投資信託（ETF）や不動産投資信託（REIT）の性質を有する投資信託証券にも信託財産の純資産総額の5%を上限に投資する場合があります。また、アフリカ諸国の企業の株式にかかる指数を対象とした有価証券指数等先物取引や有価証券店頭指数等スワップ取引を適宜活用する場合があります。 株式の組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一般的に組入比率を引き下げる場合があります。
主な投資対象	アフリカ諸国の企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	ベンチマーク		株組入比率	株先物比率	純資産額
		騰落率	騰落率			
	円	%	%	%	%	百万円
12期(2017年11月17日)	19,881	29.7	29.6	94.8	—	5,383
13期(2018年11月19日)	18,584	△ 6.5	△ 12.7	98.4	—	3,916
14期(2019年11月18日)	18,393	△ 1.0	0.5	97.5	—	3,576
15期(2020年11月17日)	16,570	△ 9.9	△ 7.8	96.4	—	2,481
16期(2021年11月17日)	21,344	28.8	22.6	99.2	—	2,542

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*ベンチマーク(=MSCI EM アフリカ インデックス(税引後配当込み・円ベース))は、MSCI EM アフリカ インデックス(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
*MSCI EM アフリカ インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

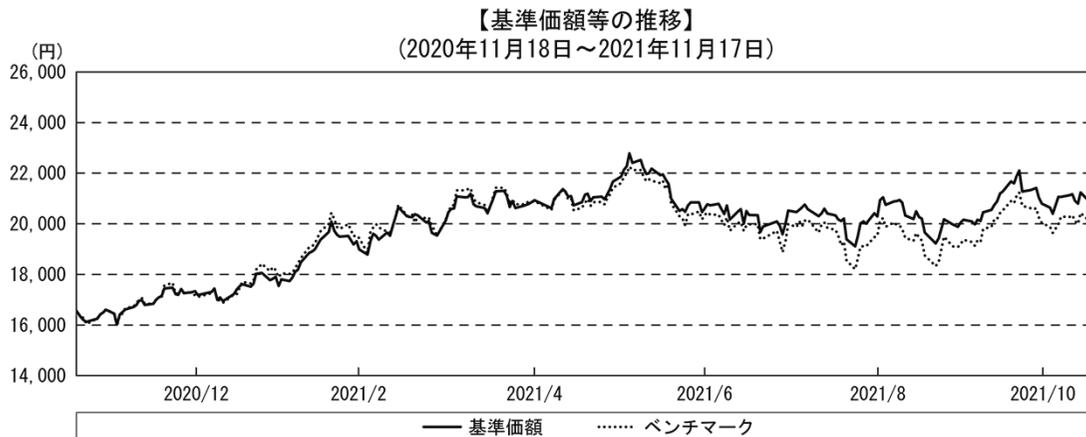
年月日	基準価額	ベンチマーク		株組入比率	株先物比率
		騰落率	騰落率		
(期首) 2020年11月17日	円 16,570	% —	% —	% 96.4	% —
11月末	16,449	△ 0.7	△ 0.8	92.9	—
12月末	17,180	3.7	3.2	97.0	—
2021年1月末	17,800	7.4	8.9	97.7	—
2月末	18,986	14.6	17.3	98.3	—
3月末	20,587	24.2	25.0	97.7	—
4月末	20,926	26.3	26.1	98.4	—
5月末	21,866	32.0	30.4	98.6	—
6月末	20,603	24.3	22.7	98.7	—
7月末	20,516	23.8	20.7	98.8	—
8月末	20,287	22.4	17.9	98.6	—
9月末	20,062	21.1	16.0	94.9	—
10月末	20,801	25.5	20.9	98.5	—
(期末) 2021年11月17日	21,344	28.8	22.6	99.2	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、MSCI EM アフリカ インデックス（税引後配当込み・円ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首16,570円から期末21,344円となりました。

- (上昇) 欧米での新型コロナウイルスのワクチン接種の開始が好感されたこと、世界経済の正常化への期待が高まったことを背景に原油やプラチナなどの商品価格が上昇したこと、南アフリカの一部の大手企業の決算が好感されたこと、商品価格の上昇やラマポーザ政権の構造改革への期待を背景に南アフリカ・ランドが対円で上昇（円安）したこと。
- (下落) 南アフリカで新型コロナウイルスの新規感染者数が急拡大し、経済活動の制限措置の再導入が嫌気されたこと、パラジウムやプラチナなど商品価格の低調な推移を受けて貴金属株が下落したこと、中国政府によるインターネット業界への規制強化の動きを受けて、同国の大手インターネット・サービス会社に投資している南アフリカの一般消費財・サービス株が下落したこと、南アフリカ・ランドが対円で下落（円高）したこと。
- (上昇) 新型コロナウイルスワクチンのライセンス取得に向けて、米大手製薬会社との交渉を進めていると報道された南アフリカの製薬株が大幅に上昇したこと、米債務上限問題が先送りされ、デフォルト（債務不履行）懸念が後退したことを好感し世界の株式市場が上昇したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの基本方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

・期中の主な動き

- (1) 国別配分については、期首においては、エジプトやケニアなどをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、南アフリカをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。期末においても、ケニアやエジプトなどをオーバーウェイトとし、南アフリカのアンダーウェイトを継続しました。
- (2) 業種配分については、期首においては、コミュニケーション・サービスや生活必需品などをオーバーウェイトとし、一般消費財・サービスなどをアンダーウェイトとしました。期末においては、一般消費財・サービスや資本財・サービスなどをオーバーウェイトとし、金融などをアンダーウェイトとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

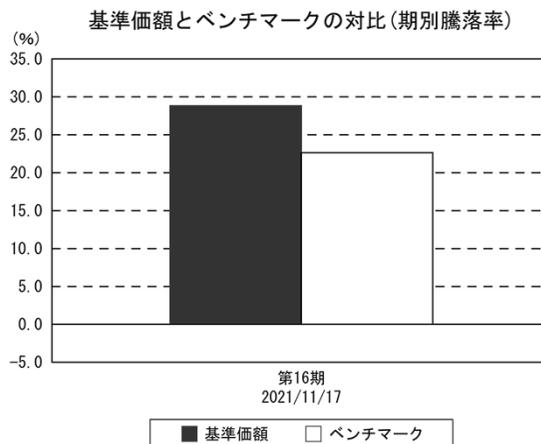
ベンチマーク（MSCI EM アフリカ インデックス（税引後配当込み・円ベース））の騰落率が+22.6%になったのに対し、基準価額の騰落率は+28.8%となりました。

（主なプラス要因）

- ①国別配分において、株価騰落率がベンチマークを上回ったモリシャスやケニアをオーバーウェイトとしたこと。
- ②個別銘柄において、株価騰落率がベンチマークを下回った南アフリカの一般消費財・サービス株をアンダーウェイトとしたこと。

（主なマイナス要因）

- ①国別配分において、株価騰落率がベンチマークを下回ったエジプトをオーバーウェイトとしたこと。
- ②個別銘柄において、株価騰落率がベンチマークを下回ったエジプトの金融株や南アフリカの素材株をオーバーウェイトとしたこと。



（注）ベンチマークは、MSCI EM アフリカ インデックス（税引後配当込み・円ベース）です。

◎今後の運用方針

1. 投資環境

アフリカ諸国株式市場は、短期的には、各国の新型コロナウイルスの感染状況や、世界景気の動向とそれに連動している商品市況の動向などの要因に左右されやすい展開が続くと考えられます。世界的なインフレ率の上昇が商品価格の上昇に繋がり、資源株への追い風になるとみられます。一方、インフレ対策として主要国の中央銀行が景気回復の減速を招くほどの金融政策の引き締めを行えば、多くの商品価格が下落し、特に、南アフリカ株式市場への重石になると考えられます。中長期的には、構造改革などを通じて経済成長の底上げがなされるかどうか重要であると考えており、早急な実行が望まれます。人口は増加が続き、構成も若いなど、潜在的な成長余地は高い地域であり、実際に高い経済成長が持続可能な形で実現されれば、投資家の関心は高まると考えられます。

2. 投資方針

- ①南アフリカについては、緩やかな景気回復が進む中、政府が新型コロナウイルスの対策や経済改革と財政の立て直しを同時に進められるかが注目されます。2021年11月に行なわれた地方選挙において、与党・アフリカ民族会議（ANC）の得票率が50%を割り込み、1994年の政権獲得以来最低の水準となりました。支持率低下の背景として、相次ぐ汚職や公共サービスの質の悪さが挙げられています。これらの問題は、ラマポーザ大統領就任前から深刻化し、就任後、積極的に取り組んできた課題です。しかし、選挙の結果を受けて同大統領の党内基盤が弱体化する可能性が高まったことから、構造改革のペースが失速するリスクには、今後、注意が必要です。銘柄選択にあたっては、高い競争力を有する優良企業を中心に選別する方針です。国外にも事業を展開し、アフリカ地域全体の中長期的な発展の恩恵を享受できる銘柄にも注目しています。
- ②エジプトについては、観光業の回復などを考慮すると、堅調な景気回復が続くと見込まれています。また、投資家に好感されたオンライン決済会社のIPO（新規株式公開）後に、政府が国営企業の新たなIPOの計画を発表しました。計画を速やかに実施できるかに注目していきます。
- ③ケニアについては、国内景気が早いペースで回復しており、国内企業の業績回復が期待されています。一方、インフレ率が依然として高い水準にあるため、引き続き、インフレ動向を注視していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年11月18日～2021年11月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.051 (0.051)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.054 (0.054)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	11 (11) (0)	0.057 (0.057) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	32	0.162	
期中の平均基準価額は、19,671円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月18日～2021年11月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 120 (1,544)	千米ドル 47 ()	百株 —	千米ドル —
	エジプト	6,905 (1,839)	千エジプトポンド 9,802 ()	7,085	千エジプトポンド 16,901
	ケニア	—	千ケニアシリング —	12,306	千ケニアシリング 40,205
	南アフリカ	8,088	千ランド 49,941	7,831	千ランド 101,312

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年11月18日～2021年11月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,324,919千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,480,326千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月18日～2021年11月17日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 105	% 77.2	百万円 736	百万円 105	% 14.3	

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2021年11月17日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
			千米ドル	千円	
(アメリカ)	百株	百株			
INTEGRATED DIAGNOSTICS HLDS	—	2,059	260	29,927	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
INTEGRATED DIAGNOSTICS-WI	394	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	394	260	29,927	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	< 1.2% >	
(エジプト)			千エジプトポンド		
CREDIT AGRICOLE EGYPT	—	1,381	3,953	28,906	銀行
COMMERCIAL INTERNATIONAL BANK	2,272	943	4,999	36,553	銀行
ARABIAN FOOD INDUSTRIES CO	1,275	—	—	—	食品
CAIRO INVESTMENT & REAL ESTA	1,823	1,823	2,476	18,107	各種消費者サービス
ELSWEDY ELECTRIC CO	—	5,010	4,108	30,042	電気設備
JUHAYNA FOOD INDUSTRIES	1,137	—	—	—	食品
FAWRY FOR BANKING & PAYMENT	990	—	—	—	情報技術サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	7,499	9,159	15,537	113,609
	銘柄 数 < 比 率 >	5	4	—	< 4.5% >
(ケニア)			千ケニアシリング		
SAFARICOM LTD	23,113	10,807	43,282	44,385	無線通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	23,113	10,807	43,282	44,385
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.7% >
(南アフリカ)			千ランド		
AVI LTD	275	—	—	—	食品
BARLOWORLD LTD	—	373	5,058	37,480	商社・流通業
BIDVEST GROUP LTD	224	299	5,498	40,740	コングロメリット
CLICKS GROUP LTD	442	373	10,441	77,368	食品・生活必需品小売り
DRDGOLD LTD	—	2,675	4,157	30,804	金属・鉱業
GOLD FIELDS LTD	662	791	13,566	100,524	金属・鉱業
NORTHAM PLATINUM LTD	376	—	—	—	金属・鉱業
HARMONY GOLD MINING CO LTD	260	—	—	—	金属・鉱業
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD	73	97	18,065	133,864	銀行
MTN GROUP LTD	1,493	1,561	24,665	182,773	無線通信サービス
ANGLOGOLD ASHANTI LTD	509	372	12,190	90,331	金属・鉱業
FIRSTRAND LTD	4,656	3,540	20,448	151,526	各種金融サービス
NASPERS LTD-N SHS	308	200	55,505	411,296	インターネット販売・通信販売
ANGLO AMERICAN PLATINUM LTD	46	42	7,078	52,454	金属・鉱業
SASOL LTD	309	516	13,407	99,351	化学
SHOPRITE HOLDINGS LTD	460	506	10,154	75,245	食品・生活必需品小売り
STANDARD BANK GROUP LTD	1,144	930	12,195	90,365	銀行
ASPEN PHARMACARE HOLDINGS LT	330	348	7,620	56,469	医薬品
SANLAM LIMITED	3,045	2,013	12,092	89,602	保険
IMPALA PLATINUM HOLDINGS LTD	752	716	15,317	113,499	金属・鉱業
KUMBA IRON ORE LTD	97	80	3,388	25,111	金属・鉱業
LIFE HEALTHCARE GROUP HOLDIN	—	1,150	2,734	20,264	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VODACOM GROUP	660	256	3,520	26,088	無線通信サービス
MOTUS HOLDINGS LTD	810	440	4,612	34,178	専門小売り
ABSA GROUP LTD	805	1,010	13,927	103,204	銀行
SIBANYE STILLWATER LTD	2,390	3,719	20,726	153,582	金属・鉱業
MR PRICE GROUP LTD	398	521	10,413	77,164	専門小売り

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
株 数	株 数			外貨建金額	邦貨換算金額	
(南アフリカ)		百株	百株	千ランド	千円	食品 食品・生活必需品小売り
LIBSTAR HOLDINGS LTD		1,500	—	—	—	
BID CORP LTD		353	102	3,188	23,629	
小 計		株 数 ・ 金 額	22,382	22,639	309,976	2,296,925
		銘柄 数 < 比 率 >	26	25	—	<90.4%>
(モーリシャス)				千モーリシャスルピー		銀行
MCB GROUP LTD		398	398	13,492	35,831	
小 計		株 数 ・ 金 額	398	398	13,492	
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.4%>
合 計		株 数 ・ 金 額	53,787	45,063	—	2,520,679
		銘柄 数 < 比 率 >	34	32	—	<99.2%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			比 率	
		口 数	口 数	評 価 額		
口 数	口 数			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ナイジェリア)		口	口	千ナイラ	千円	%
AFRILAND PROPERTIES PLC		1,566,666	1,566,666	1,676	465	0.0
合 計		口 数 ・ 金 額	1,566,666	1,566,666	1,676	465
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.0%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年11月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,520,679	% 98.8
投資証券	465	0.0
コール・ローン等、その他	30,806	1.2
投資信託財産総額	2,551,950	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産 (2,536,000千円) の投資信託財産総額 (2,551,950千円) に対する比率は99.4%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=114.87円、1ユーロ=130.03円、1エジプトボンド=7.3119円、1ケニアシリング=1.0255円、1ランド=7.41円、1モーリシャスルピー=2.6557円、1ナイラ=0.277574円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,551,950,432
コール・ローン等	22,841,666
株式(評価額)	2,520,679,163
投資証券(評価額)	465,306
未収入金	7,964,297
(B) 負債	9,857,900
未払金	9,857,895
未払利息	5
(C) 純資産総額(A-B)	2,542,092,532
元本	1,191,030,400
次期繰越損益金	1,351,062,132
(D) 受益権総口数	1,191,030,400口
1万円当たり基準価額(C/D)	21,344円

(注) 期首元本額は1,497,850,631円、期中追加設定元本額は51,116,167円、期中一部解約元本額は357,936,398円、1口当たり純資産額は2,1344円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村アフリカ株投資 1,191,030,400円

○損益の状況 (2020年11月18日～2021年11月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	71,405,738
受取配当金	71,411,615
支払利息	△ 5,877
(B) 有価証券売買損益	591,636,300
売買益	696,070,966
売買損	△ 104,434,666
(C) 保管費用等	△ 1,457,157
(D) 当期損益金(A+B+C)	661,584,881
(E) 前期繰越損益金	984,095,575
(F) 追加信託差損益金	49,654,096
(G) 解約差損益金	△ 344,272,420
(H) 計(D+E+F+G)	1,351,062,132
次期繰越損益金(H)	1,351,062,132

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。